

令和6年12月26日

議員定数・報酬等検討特別委員会

委員長 野口佳宏様

議員定数分科会

座長 豊島保夫

議員定数分科会中間報告について

このことについて、下記のとおり、各項目について、現在までの検討状況を報告します。

記

○議員定数の現状確認

県内市議会の定数等の比較表及び全国の同規模人口の市議会における定数等の比較表や市が負担している議員1人当たりの報酬及び費用の資料について、羽島市議会の状況を確認。

○議員定数に対する今現在の各委員の考え方

各委員からは、市民団体や商工会議所、自治会からの要望等を踏まえ、定数削減という意見が数人からあった。今後、研究していく中で現状維持や、定数増といった可能性についても併せて議論し、メリット、デメリットを示していく必要がある。

## ○市民へのアンケートの実施

定数分科会としては実施する方向で考えている。経費的なことを考慮すると、他の分科会と調整しながら、特別委員会全体として決定するのが妥当ではないか。

## ○視察の実施

令和7年1月、瑞浪市に行政視察を予定。定数削減した自治体や、現状維持の自治体などの候補地から、今回は定数削減を実施した自治体を優先して視察先とすることを決定した。

## ○議員定数に対する考え方について（委員各種意見）

1. 住民の民意をしっかりと受け止めて考えていく必要性を感じている。前回の考え方をリセットし、改めて自分の考えを構築していきたい。
2. 定数を削減することで、3つある常任委員会を2つにしていきたい。
3. 定数削減が本当に必要なのかということをしっかり議論する必要がある。
4. 市民や団体からの厳しい意見があることから、削減すべきである。
5. 市民あつての議会、市民の気持ちに沿ってやっていきたい。

※今後は、行政視察や他市の審議資料について、各委員が調査し、分科会で協議。議員定数削減や現状維持、定数増、また、その人数について、メリット、デメリットを示して結論を得る予定。